



繰り返される現場で働く私たちの**生命の危機**

10月3日
未明

2014年の京浜東北線・川崎駅構内発生した

工事用車両との衝突による脱線転覆事故の教訓が活かされず

東海道線・熱海～湯河原間にて

工事用機材(トラックマスター)と衝突事故発生

トラックマスターではなく

万が一、工事用車両だったら・・・

2019年10月3日(木)0時03分頃、東海道線上り回2634M(回送列車・熱海発～早川行)が熱海～湯河原間にて、作業用機材であるトラックマスターと衝突しました。これは列車の間合い作業で載線されたトラックマスターが載線されたまま、線路閉鎖を解除してしまったことが原因とされています。JR東日本ホームページの運行情報や駅にある運行情報案内モニターでは、「異音感知」としかアナウンスされませんでした。一歩間違えれば、私たちやお客さまの命に直結する重大事故へと繋がる事故です。

自らの職務に集中し、安全第一に努めよう!